

日本公認会計士協会主催 立教経済学部・経済研究所共催 公開講演会「公認会計士への道」

催日：2016年4月20日（水）18：30～19：30

会場：立教大学池袋キャンパス 14号館4階 D401教室

講師：◇横澤祐里（2015年試験合格者）

◇小林尚明（公認会計士・日本公認会計士協会）

◇山田浩一（公認会計士・立教公認会計士会会長）

司会：小澤康裕（本学経済学部准教授）

2016年4月20日（水）に池袋キャンパス14号館D401教室において、公開講演会「公認会計士への道」が開催された。今春入学したばかりの1年生を中心に参加者は50名を超えた。

はじめに、日本公認会計士協会の「CPA document」というビデオ上映の後、小林尚明氏（公認会計士・日本公認会計士協会）より、ご自身の経験を踏まえ、公認会計士の業務領域や監査業務の概要について、また、公認会計士という職業の素晴らしさと誇りについてお話しいただいた。

次に、昨年、公認会計士試験に合格し、PwC あらた監査法人に勤務されている横澤祐里氏（本学経営学部卒・2015年合格）から、公認会計士試験に挑戦し始めたころから試験勉強中の生活などについての具体的なお話をいただいた。同級生が順調に大手企業への就職を決めていく中、大学卒業後も試験勉強を続けることは大変なことだったが、長い人生を考えると、試験勉強に費やす数年は何も後れを取ることにならないというメッセージが印象的だった。

また、山田浩一氏（公認会計士・立教公認会計士会会長）からは、公認会計士として長年活躍してきたご経験、そして、本学OBの公認会計士の方々がどのように活躍されているか等についてお話しいただいた。さらに、会員数を順調に増やしている立教公認会計士会の活動についても簡単にご説明いただいた。

質疑応答も活発に行われ、公認会計士の年収や試験勉強についてのアドバイスなどについてさらにお話しいただいた。講演会の終了後も個別に長い行列ができるほど質問があり、講師の先生方には丁寧にお答えいただいた。

参加者アンケートによると、「公認会計士の業務内容や魅力についてよく理解できた」、「公認会計士がより身近に感じた」、「公認会計士の責任とやりがいがよくわかった」等の感想が多く、講演会の趣旨が参加者に十分に伝わったように思われる。

担当：小澤康裕（本学経済学部准教授）